

令和7年9月5日  
青森市福祉部高齢者支援課長

## 【内閣府】社会参加活動事例「社会参加章」に選ばれました

このたび、高齢者がグループ等で地域社会活動や世代間交流など社会参加活動を積極的に行っている好事例として、青森市から内閣府へ推薦しました1団体が「社会参加章」に選ばれましたので、取材・報道をお願いします。

### 「社会参加章」受章団体

つながり隊

### 「社会参加章」受章団体の活動内容

つながり隊は、認知症サポーターで構成され、チームオレンジとして「認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくり」に貢献している。

地域ごとに認知症カフェを設置し、認知症のかたの交流の場や高齢者の認知症・閉じこもり予防の場として運営している。

カフェの企画はメンバーのアイデアから生まれる。中でも方言を楽しく学ぶ「津軽弁講座」のコーナーは人気が高く、長年研究した内容を本にし、自費出版するに至った。

カフェを活動の拠点とし、傾聴ボランティアや気になる高齢者の見守り、包括へのつなぎなどを行い、認知症支援の一翼を担っている。

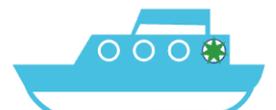


### 国における公表

記者公表日 令和7年9月5日（金）午後3時

内閣府ホームページ掲載日 令和7年9月5日（金）午後3時以降

[https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/age\\_list\\_all.htm](https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/age_list_all.htm)



## 【内閣府】エイジレス・ライフ実践事例及び

### 社会参加活動事例の紹介事業の概要（内閣府 HP より引用）

#### 1 趣旨

内閣府ではエイジレス・ライフ（年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送ること）を実践している高齢者の事例（「エイジレス・ライフ実践事例」）や、地域で社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループ等（「社会参加活動事例」）を募集し、その中から内閣府として紹介する事例を決定し広く紹介することにより、国民の参考としていただくことを趣旨としています。

#### 2 紹介する活動事例

##### （1）エイジレス・ライフ実践事例（個人）

現にエイジレス・ライフを実践している方及び高齢期前からその準備をし、今後も継続して実践していると認められる方であって、広く全国に紹介することがふさわしいと認められるもの。

##### （2）社会参加活動事例（グループ等）

主体的に社会とかかわりを持ち、現に積極的な社会参加活動を行い、今後も継続的に活動が行われると認められるグループ、団体等であって、高齢社会における高齢者の社会参加活動として広く全国に紹介することがふさわしいと認められるもの（原則として構成員の数が10名以上で、かつ、65歳以上の者が中心となって構成されていることが必要）。

#### 3 募集時期

募集は毎年1月頃に公表します。

#### 4 表章

選考されたエイジレス・ライフ実践者に対し「エイジレス章」、社会参加活動団体に対し「社会参加章」を章する書状を交付するとともに記念の楯を授与します。

引用元：「エイジレス・ライフ実践事例」及び「社会参加活動事例」の募集と紹介  
[https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/age\\_list\\_all.htm](https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/age_list_all.htm)